病院名 琉球大学医学部附属病院

がん診療連携拠点病院等の区分	該当指定要件
地域がん診療連携拠点病院	II
特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合	II, III
都道府県がん診療連携拠点病院	II, IV
特定機能病院を都道府県がん診療連携拠点病院として指定する場合	II、III、IV(3の(1) および(2)を除く)
国立がん研究センター中央病院および東病院	II, III, V
特定領域がん診療連携拠点病院	II, VI
地域がん診療病院	VII

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

D:グループ指定を受けている場合必須

E:単独または連携による確保が必須

F:二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須ではない

G:二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須

「-」:要件に該当なし

	携拠点病院の指定要件について			
1 診療体制				
(1)診療機能				
	の提供体制および標準的治療等の提供			
ゥ	がん疼痛や呼吸困難などに対する症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした院内マニュアルを整備すると共に、 これに準じた院内クリティカルパスを整備し活用状況を把握する等、実効性のある診療体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
② 手術療法の提	供体制			
③ 放射線治療の				
イ	第三者機関による出力線量測定を行う等、放射線治療の品質管理を行っている。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
④ 化学療法の提	供体制		_	
ア	(3)の①のイに規定する外来化学療法室において、公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師や化学療法看護認定看護師をはじめとするがん看護を専門とする看護師を中心として、治療の有害事象を含めた苦痛のスクリーニングを行い、主治医と情報を共有できる体制を整備し、整備体制について、がん患者とその家族に十分に周知している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
⑤ 緩和ケアの提	供体制			
1 III a	看護師や医療心理に携わる者等の同席を基本としている。ただし、患者とその家族等の希望に応じて同席者を調整している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
ווס	がん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛に対して、必要に応じて初回処方を緩和ケアチームで実施する等、院内の診療従事者と連携し迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
⑥ 病病連携・病詞				
カ	地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、症状緩和に係る院内クリティカルパス に準じた地域連携クリティカルパスやマニュアルを整備するなど院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続し て実施できる体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
⑦ セカンドオピニ	オンの提示体制			
2)診療従事者				
	および技能を有する医師の配置			
	および技能を有する医師以外の診療従事者の配置			
③ その他 (3) 医療施設				
	医療を提供するための治療機器および治療室等の設置			
② 敷地内禁煙等				
③ その他				
2 診療実績				
研修の実施体制			_	
情報の収集提供体制	制		-	
1)相談支援センター				
2)院内がん登録			_	
3)その他				
臨床研究および調査	- 111 -		-	
PDCAサイクルの確				
□ 特定機能病院を	地域がん診療連携拠点病院として指定する場合の指定要件について			
∨ 都道府県がん診	・ 療連携拠点病院の指定要件について			
	計画はは、1777に乗作 は変支援機能強化に向けた要件			
	カション からない かっぱん かっぱん かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんしゅ かんし			
	地域の病院や在宅療養支援診療所、ホスピス・緩和ケア病棟等の診療従事者と協働して、緩和ケアにおける連携協力に関するカンファレンスを月1回程度定期的に開催している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
	アに規定するジェネラルマネージャーとは別に、専従かつ常勤の看護師を2人以上配置している。 ※当該看護師はIIの1の(2)の②の力に規定する看護師との兼任を可とする。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
	※当該看護師はIIの1の(2)の②の力に規定する看護師との兼任を可とする。	Α	いいえ	(はい・いいえ)

病院名 地方独立行政法人 那覇市立病院

がん診療連携拠点病院等の区分	該当指定要件
地域がん診療連携拠点病院	II
特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合	II, III
都道府県がん診療連携拠点病院	II, IV
特定機能病院を都道府県がん診療連携拠点病院として指定する場合	II、III、IV(3の(1) および(2)を除く)
国立がん研究センター中央病院および東病院	II、III、V
特定領域がん診療連携拠点病院	II、VI
地域がん診療病院	VII

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

D:グループ指定を受けている場合必須

E:単独または連携による確保が必須

F: 二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須ではない

G:二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須

「−」: 要件に該当なし

b域がん診療連携拠点病院の指定要件について			
·療体制			
◇療機能 ③ 集帯が込みなの担併は知からが無法が込みない担併			
① 集学的治療等の提供体制および標準的治療等の提供 我が国に多いがん(肺がん、胃がん、肝がん、大腸がんおよび乳がんをいう。以下同じ。)およびその他各医療機関が			
我が国に多いかん(胴かん、肩かん、肝かん、大傷かんおよび礼かんという。以下同じ。)およびその他各医療機関が専門とするがんについて、手術、放射線治療および化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療および緩和ケア (以下「集学的治療等」という。)を提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療(以下「標準的治療」という。)等がん患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	Α	はい	(はい・いいえ)
我が国に多いがんおよびその他の各医療機関が専門とするがんについて、別紙4に記載すること。	-	別紙4	
我が国に多いがんへの対応状況について別紙5に記載すること。グループ指定を受ける施設との連携にて対応している場合にはその連携状況についても記載すること。	-	別紙5	
我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について別紙6に記載すること。グループ指定を受ける施設との連携にて対応している場合にはその連携状況についても記載すること。	-	別紙6	
希少がんのうち、自施設で診断・治療実績が多く、かつ、他の医療機関から積極的に紹介を依頼するなど、専門的に 扱っているがん種があれば、別紙7に記載すること。希少がんの定義については限定せず、通念上同種のがん種が多 くないと判断されるものとする。	-	別紙7	
我が国に多いがんについて、クリティカルパス(検査および治療等を含めた詳細な診療計画表をいう。以下同じ。)を整備し、活用状況を把握している。	Α	はい	(はい・いいえ)
我が国に多いがんおよび我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんの治療に関する院内クリティカルパスを整備状況と活用状況について別紙8に記載すること。		別紙8	
がん疼痛や呼吸困難などに対する症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした院内マニュアルを整備すると共 ウ に、これに準じた院内クリティカルパスを整備し活用状況を把握する等、実効性のある診療体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした、院内クリティカルパスの整備状況と活用状況について別紙別に記載すること。	-	別紙9	
がん患者の病態に応じた、より適切ながん医療を提供できるよう、キャンサーボード(手術、放射線診断、放射線治療、化学療法、病理診断及び緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。以下同じ。)を設置し、その実施主体を明らかにした上で、月1回以上開催している。	Α	はい	(はい・いいえ)
キャンサーボードは多職種、かつ多専門家で構成されている。	-	はい	(はい・いいえ)
昨年1年間でがんと初めて診断された患者のうち、多職種かつ多専門家で構成されたキャンサーボードで症例検討が 行われた割合。	-	26	%
キャンサーボードの活動状況について、別紙10に記載すること。	-	別紙10	
地域がん診療病院とグループ指定を受けている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
グループ指定を受ける場合、その状況について別紙11に記載すること。	-	別紙11	
確実な連携体制を確保するためそのグループ指定先の地域がん診療病院と定期的な合同のカンファレンスを開催し す ている。	D	いいえ	(はい・いいえ)
グループ指定先の地域がん診療病院とのカンファレンスの実施状況について、別紙12に記載すること。	-	別紙12	
グループ指定を受ける地域がん診療病院の診療機能確保のための支援等に関する人材交流計画を策定し、その計 画に基づき人材交流を行っている。	D	いいえ	(はい・いいえ)
人材交流計画について、別紙13に記載すること。	-	別紙13	
キ がん患者に対するインフォームドコンセントの際、医師以外の職種が必ず参加することが原則となっている。	-	はい	(はい・いいえ
i 上記の原則は、規定、あるいはマニュアルなどで明文化されている。	-	はい	(はい・いいえ)
糖尿病の専門チームを整備し、当該糖尿病チームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な血糖コントローク ルを行っている。	-	はい	(はい・いいえ)
ケ 感染症制御の専門チームを整備し、当該感染症チームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な感染症のコンサルテーションを行っている。 ・ 栄養の専門チームを整備し、当該栄養サポートチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な栄養管理	-	はい	(はい・いいえ
コ を提供している。 … 歯科口腔ケアの専門チームを整備し、当該歯科口腔ケアチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な	-	はい	(はい・いいえ)
サ 歯科口腔ケアを提供している。 經和ケアの専門チームを整備し、当該經和ケアチームを組織上明確に位置付け、がん事者に対して適切な緩和ケア	-	はい	(はい・いいえ
・ 被性リアの受け了 日本主席に、当成権和アアア 日本語報工 労能に位置 けい、かの思すに対して過 切る機 ロアア を提供している。	-	はい	(はい・いいえ
ス 「	_	はいいえ	(はい・いいえ
ソ 昨年1年間自施設でがんと初めて診断された小児固形腫瘍患者の数。	_	0	人
昨年1年間自施設でがんと初めて診断された小児固形腫瘍患者で、多職種かつ多専門家で構成されたキャンサー ボードで症例検討が行われた件数。	-	0	件
小児固形腫瘍患者に対して二次がん、晩期合併症、妊孕性などに対応するため他科との連携がとれた長期フォロー タ アップ外来を開設している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
7 7 7 7 7 E III KO C V W 8			
② 手術療法の提供体制			
	Α	はい	(はい・いいえ)
② 手術療法の提供体制	A -	はい いいえ はい	(はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)

③ 放射		療の提供体制			
		強度変調放射線治療等を含む放射線治療に関して地域の医療機関と連携するとともに、役割分担を図っている。	Α	はい	(はい・いいえ)
		第三者機関による出力線量測定を行う等、放射線治療の品質管理を行っている。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
	i	定期的な線量計の校正を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
		治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)を記載すること。	-		年2月4日
		外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。 第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	III	第二名機関によるリーアップの田J稼里測定で受けている。 	_	いいえ	(はい・いいえ) (医用原子力技術研究
		測定機関名を選択すること。	-		(医用原子刀技術研究 興財団、その他)
		その他の場合、記載すること。	-		
	_	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)を記載すること。	_	15152	//±1 × 1 × 1 × 2 ×
3)その他	ウ	連携協力により、グループ指定先の地域がん診療病院が放射線治療が提供できる体制を整備している。	D	いいえ	(はい・いいえ)
1		我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、および標準的治療等を提供している。	_	はい	(はい・いいえ)
		集学的治療等を提供する体制を有し、標準的治療等を提供している場合D当該がんに対する診療内容について病院ホームページ等でわかりやすく広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	ア	院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	1	院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	ゥ	ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。		http://	
	т	地域の広報誌等で広報している。	_	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		その他の方法がある場合、内容を記載すること。	-		
2		院内がん登録数や各治療法についてのがん種別件数について、ホームページ等での情報公開に努めている。	Α	はい	(はい・いいえ)
	ア	院内の見やすい場所に掲示している。	_	いいえ	(はい・いいえ)
	1		-	いいえ	(はい・いいえ)
		ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
		掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	_	http://	
	_	地域の広報誌等で広報している。	_	13135	(1+1>-1>1>=)
		その他の方法で掲載している。	_	いいえ はい	(はい・いいえ) (はい・いいえ)
		Cas Prass To Clarity Cas An		140,	(180 - 0 -0 -70)
	•	その他の方法がある場合、内容を記載すること。			- 連携拠点病院院 手集計報告書にで 14年3月31日、発
				沖縄県がん診療 がん登録 2010年 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学	- 連携拠点病院院 ∓集計報告書にで 14年3月31日、発
3		その他の方法がある場合、内容を記載すること。		沖縄県がん診療がん登録 2010年 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター)	連携拠点病院院 年集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん
3		その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりや	-	沖縄県がん診療がん登録 2010年 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター)	連携拠点病院院 主集・報告書にで 14年3月31日、発 学部附属病院がん
		その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。	- А	沖縄県がん診療がん登録 20104 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい	連携拠点病院院 主集計報告書に3 14年3月31日、発 学部附属病院から (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	· ア	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。	- A	沖縄県がん診療がん登録 20104 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がか (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	Р	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。	_ A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい	連携拠点病院院 主集計報告書に3 14年3月31日、発 学部附属病院から (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	Р	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の見やすい場所に掲示している。	- A A	沖縄県がん診療 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医門 センター) いいえ はい いいえ いいえ	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がA (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	Р 1	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	- A A - -	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医与 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 手集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	ア イ ウ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内は、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 手集計報告書にて 14年3月31日、発 神部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	ア イ ウ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医与 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 年集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院が人 (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ)
4	ア イ ウ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内郎、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 手集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
	ア イ ウ エ オ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育をは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の見やすい場所に掲示している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医門 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がな (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
4	ア イ ウ エ オ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内郎、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 手集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
4	ア イ ウ エ オ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育をは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の見やすい場所に掲示している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。	- A A	沖縄県がん診療 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
4	アイウ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内恵、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の情報提供等 院内の見やすい場所に指定を受けている旨の掲示をする等、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学 センター) いいえ はい いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
4	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の記、チラン等で広報している。 ・ホームページに掲載している。 ・ポームページに掲載している。 ・地域の広報誌等で広報している。 ・その他の方法で掲載している。 ・その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の情報提供等 院内の見やすい場所に指定を受けている旨の掲示をする等、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。 拠点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、	- A A	 沖縄県がん診療 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球ナー) いいえ はい りばれ り紙49 (任意様式) 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
4	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやす公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の見やすい場所に掲示している。 木ームページに掲載している。 木ームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の情報提供等 院内の見やすい場所に指定を受けている旨の掲示をする等、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。 拠点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載す	- A A	 沖縄県がん診療 がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医・ センター) いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ はい がいえ はいいえ いいえ いいこ いいえ いいえ いいえ いいえ 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
\$	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 株一ムページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 地点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。	- A A	 沖縄県がん診療・20104 掲載(発行日:20刊:琉球ナー) いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ 別紙49(任意様式) 別紙50別紙51 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がか (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
⑤	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 ホームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 をの他の方法で掲載している。 ・ 本の他の方法で掲載している。 ・ 本の他の方法で掲載している。 ・ 本の他の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法がある場合、内容を記載すること。 ・ 本の世の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法がある場合、内容を記載すること。 ・ 本の世の方法で表述に指載すること。 ・ 本の世の方法で表述に対し必要な情報提供を行っている。 ・ 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 ・ 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 ・ おは住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 ・ おはないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまないまな	- A A	沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学 レいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ	連携拠点病院院 事集計報告書にて 14年3月31日、発 24年3月31日、発 (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ) (はいいいえ)
\$	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラシ等で広報している。 株一ムページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 地点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。	- A A	 沖縄県がん診療・20104 掲載(発行日:20刊:琉球ナー) いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ いいえ 別紙49(任意様式) 別紙50別紙51 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
⑤ ⑤	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 ホームページに掲載している。 構載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 表の他の方法で掲載している。 ・ 本の他の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法で掲載すること。 ・ 本の世の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法で掲載している。 ・ 本の世の方法で表している。 ・ 本の世の方法で表している。 ・ 本の世の音に必要性の高い調査研究への協力体制を整備している。 ・ は、日の本の	- A A A A	 沖縄県がん診療がん登録 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球大学医学センター) いいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえいいえ	連携拠点病院院 手集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
(4) (5) (5) (5) (6) (7) (1) (2)	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、バンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内の見やすい場所に掲示している。 ・ は載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法で掲載している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 地域の原等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 近調査研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究への協力体制を整備している。 臨床研究等を行っている。 臨床研究等を行っている。	- A A	 沖縄県がん診療 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球ナー) いいえ いいた はい 別紙49 (任意様式) 別紙50 別紙51 別紙52 はい はい はい はい はい はい 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 学部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
(五) (五) (五) (五) (五) (五) (五) (五)	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやす公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 院内誌、チラン等で広報している。 木ームページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 機点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 「調査研究 政策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究への協力体制を整備している。 臨床研究等を行っている場合、進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床研究の成果を な報している。 臨床研究等を行っている場合、進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床研究の成果を	- A A A A A	 沖縄県がん診療 20104 掲載(発行日:20 刊:琉球一) いいえ はいいた 加紙49 (任意様式) 別紙50 別紙51 別紙52 はい はい はい はい はい はい はい 	連携拠点病院院 主集計報告書にて 14年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、発 24年3月31日、 24年3月31日 24年3月
(4) (5) (5) (1) (2) (1)	アイウエオ	その他の方法がある場合、内容を記載すること。 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 地域を対象として、緩和ケアやがん教育をはじめとするがんに関する普及啓発に努めている。 ※ここでいうがん教育とは児童、生徒へのがん教育を指します。 連携先の地域がん診療病院名やその連携内容、連携実績等について病院ホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 院内の見やすい場所に掲示している。 株一ムページに掲載している。 木一ムページに掲載している。 掲載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。 地域の広報誌等で広報している。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 その他の方法がある場合、内容を記載すること。 拠点病院等であることの広報状況(院内掲示)について別紙49に記載すること、 患者・市民向け講演会の実施情報について、別紙50に記載すること。 患者および家族向けの図書室の設置状況について、別紙51に記載すること。 地域住民に対する病院、緩和ケアチーム、緩和ケア病棟(設置されているのみ)に関するアピールを別紙52に記載すること。 び調査研究 数策的公衆衛生的に必要性の高い調査研究への協力体制を整備している。 臨床研究等を行っている。 臨床研究等を行っている場合、進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床研究の成果を広報している。 臨床研究等を行っている場合、進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要および過去の臨床研究の成果を広報している。	- A A A C	 沖縄県がるショウン 対るを発行日:20 利:琉球ー) いいえ はい 別紙49 (任意様式) 別紙50 別紙51 別紙52 はい 	連携拠点病院院に 手集計報告書にて 14年3月31日、発 や部附属病院がん (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)

掲	載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	-	http://www.nc	h.naha.okinawa.j
〒 抽	域の広報誌等で広報している。	_	いいえ	(はい・いいえ)
	の他の方法で掲載している。	_	いいえ	(はい・いいえ)
	の他の方法がある場合、内容を記載すること。	-		(10.0 0 0 72)
	床研究等を行っている場合、臨床研究コーディネーター(CRC)を配置している。	С	はい	(はい・いいえ)
(4)	i床研究等を行っている場合、臨床研究・治験に対する普及啓発を進め、患者に対して臨床研究・治験に関する適切 情報提供に努めている。	Α	はい	(はい・いいえ)
ア院	内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
イ 院	内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ウホ	ームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲	載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	-	http://www.nc p/touin/tiken.	h.naha.okinawa.i html
エ 地	はめの広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
オそ	の他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
7	の他の方法がある場合、内容を記載すること。	-		
⑤ 院	内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
ア窓	ロで対応している。	_	はい	(はい・いいえ)
イ電	話で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	AXで対応している。	_	はい	(はい・いいえ)
	mailで対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
臨		_	別紙53	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,
	応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会を開催している。	_	はい	(はい・いいえ)
• -	応外薬や未承認薬の使用を検討する審査委員会開催回数(1年)	_	12	回
PDCAサイクルの			12	Ш
(1) 自 評	施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、がん患者の療養生活の質について把握・ 価し、課題認識を院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じている。	Α	はい	(はい・いいえ)
<u>خ</u> ا	施設の診療機能や診療実績、地域連携に関する実績や活動状況の他、患者QOLについて把握・評価し、課題認識院内の関係者で共有した上で、組織的な改善策を講じる体制について別紙54に記載すること。	-	別紙54 (任意様式)	
(2) 域	れらの実施状況につき都道府県拠点病院を中心に都道府県内のがん診療連携拠点病院、特定領域拠点病院、地 :がん診療病院において、情報共有と相互評価を行っている。	Α	はい	(はい・いいえ)
	域に対してわかりやすく広報している。	Α	はい	(はい・いいえ)
i 院	内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
iii ホ	一ムページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
掲	載している場合、該当するページのアドレスを記載すること。	-	http://www.nc p/gankyoten/a	h.naha.okinawa.j about.html
iv 地	域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
v そ	の他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
*	の他の方法がある場合、内容を記載すること。	_		
(3) 手	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-	はい	(はい・いいえ)
	ん治療で生じた安全上の問題について事例を収集するシステムを設けている。	_	はい	(はい・いいえ)
	ん治療で生じた安全上の問題についての収集された事例を、院内医療安全管理部門等で検討している。	_	はい	(はい・いいえ)
	70万派でエング東王の问题についての状実でもに事例と、他内区派文王官荘の日本で採出している。		12	回
(3) 防	に1位原入エロ伝明 1寸 CV 次的 五角性象及い 十四に7/		12	디

A項目で「いいえ」と回答したもの

医療用麻薬等の鎮痛薬の初回使用や用量の増減時には、医師からの説明とともに薬剤師や看護師等による服薬指導を実施し、その際には自記式の服薬記 録を整備活用することにより、外来治療中も医療用麻薬等の使用を自己管理できるよう指導している。 .≥

(ばいいい) え)

いいえ

⋖

※薬剤師の不足により対応困難。

病院名

公益社団法人 北部地区医師会 北部地区医師会病院

がん診療連携拠点病院等の区分	該当指定要件
地域がん診療連携拠点病院	II
特定機能病院を地域がん診療連携拠点病院として指定する場合	II, III
都道府県がん診療連携拠点病院	II, IV
特定機能病院を都道府県がん診療連携拠点病院として指定する場合	II、III、IV(3の(1) および(2)を除く)
国立がん研究センター中央病院および東病院	II, III, V
特定領域がん診療連携拠点病院	II, VI
地域がん診療病院	VII

指定要件での扱い

A:必須

- B:原則必須
- C:対応することが望ましい
- D:グループ指定を受けている場合必須
- E:単独または連携による確保が必須
- F: 二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須ではない
- G:二次医療圏の医師数が300人以下の場合必須
- 「-」: 要件に該当なし

#性でいる。 グループ和定先のがん診療連携拠点病院とのカンファレンスの実施状況について、別紙12に記載すること。 少地域が心診療病院が診療機能確保のための支援等に関するがん診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能なが 人材交流計画について、別紙13に記載すること。 工 機等的治療等の均なべ化のなめ、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能なが んについて院内のリティカルバスを整備と活用状況を整備している。 我が国に多いがんまなど我がいめるとなる状態に関するだめ、診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能なが 人だこいて院内のリティカルバスを整備と活用状況を整備している。 では緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした。院内クリティカルバスを整備状況と活用状況について別紙9に記載すること。 ⑥ 病病連携・病診連構の協力体制 グループ相定を受けるがん診療は連携拠点病院と連携により、以下を満たす。 東が国に多いが人を砂心を受達排拠点病院と連携により、以下を満たす。 ※ 実が国に多いが人を砂心を受達排機場に持ちるとがあれたのいで、地域連携クリティカルバス(が人)診療連携機点病院と地域の医療機関 グループ相定を受けるがん診療は関するに対し、地域連携クリティカルバス(が人)診療連携機点病院と地域の医療機関 イ 等が作成する診療を留か付える。以下同じ、)を整備している。 事門的な知識および技能を有する医師の配置 (1) 専門的な知識および技能を有する医師の配置 (1) のあに規定する機和ウアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師の入数 当該医師は専任である。 第神症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師の入数 「いのあに規定する機和ウアチームに、精神症状の緩和に進力も診療の人数 当該医師は専任である。 第神症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師のの制とと身体 症状もしくは精神症状の緩和に従事していることは求めない。 55年数のの力を発展の事件性について、別紙34に記載すること。 (3) 医療施設 ② 敷地内禁煙の実施等のたばに対策に積極的に取り組んでいる。 イ 禁煙の状況 イ 禁煙の状況 イ 禁煙の状況 「 影地の対策の実施等のたばに対策に積極的に取り組んでいる。 「 影地内熱療の実施等のたばに対策に積極的に取り組んでいる。 イ 禁煙の状況 「 家地内発展の実施等のたばに対策に積極的に取り組んでいる。 イ 禁煙の状況 「 な地の場合記載すること。 ク 禁煙が来を実施している。 「 影響の考定様等の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 「 影響の考定権等の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 「 影性の必要な 無対 な といえ に はい こ に はい こ に はい こ に はい こ に ない こ に はい こ に ない こ に こ に い こ に ない こ に ない こ に こ に ない こ に こ に ない こ に ない こ に ない こ に ない こ に こ に こ に い こ に ない こ に こ に こ に こ に こ に こ に い こ に こ に こ に	VII 地域がん診	療病院の指定要件について			
(1) 多年的治療等の提供体制的よび標準的治療等の提供 機実な実施体制を経保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病機と定期的な合同のかンファレンスを制 保定でいる。グループ指定を分がん診療連携拠点病機と定期的な合同のかンファレンスを制 人 いいえ (はいし 地球がん) 診療院の診療機関のごかの支援等に関するが人診療連携拠点病院との人材交流計画を提出して 人 別紙12 ははいし 地球がん) 診療院の診療機関を関ウとの支援等に関するが人診療連携拠点病院との人材交流計画を提出して 人 いいえ 人 大 交流 (はいし 人 大 文 文 から から 表 と いいえ 人 大 文 文 から から 大 と で から から 表 と いいえ 人 大 文 文 から から から 表 と いいえ 人 大 文 文 から から から から から から から から から かま から	1 診療体制				
(はいした)	HP 100-111 1-1				
機実が連携体制を確保するため、グループ指定を受けるが心診療連携製血病院と定期的な合同のカンファレンスを開くしている。 グループ指定をのが心診療連携型血病院とのカンファレンスの実施状況について、別紙12に記載すること。 少域が心診療機能の診験機能機能を介土の支援等に関するが心診療連携拠血病院との人材交流計画を提出し、その計画に基づいた人材交流計画について、別紙13に記載すること。 人材交流計画について、別紙13に記載すること。 北極年的治療等の均てん化のため、グループ指定を受けるが心診療連携拠血病院と連携することにより、対応可能なが、人人について院内ウリティカルバスを整備に提用状況を把握している。 我が国に多いがんまんな砂にある。いかに入りが必合医療機関が専門とするが心の治療に関する院内ウリティカルバスを整備に光と活用状況について別紙切に記載すること。 企政権和や定義用事業の適正使用を目的とした。院内ウリティカルバスを整備状況と活用状況について別紙切に記載すること。 ・ 別紙3		春等の提供体制および標準的治療等の提供			
クループ指定をのがん診療連携機ら病院とのカンファレンスの実施状況について、別紙12に記載すること。 つ 別紙12	<u> </u>	確実な連携体制を確保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と定期的な合同のカンファレンスを開	А	いいえ	(はい・いいえ)
ウか計画に基づいた人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人材交流計画について、別能13に記載すること。 人間について開始に直載すること。 別能13 しいえ (はいし			-	別紙12	
大大文部計画について、別紙13に記載すること。	<mark>ウ</mark>		Α	7-7-1	(はい・いいえ)
提供的治療等の均てんにのため、グループ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能なが、人人について限分列・ティカルバスを整備し、活用状況について別級9に認動すること。 我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなび我が国に多いがんまなびまかること。 我が国に多いがんまなび我が国に多いがんとの性を受けれた。 アリ (ましい) (ましい			_	민 4 대 1 2	
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	I	標準的治療等の均てん化のため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能なが			(はい・いいえ)
症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした、院内クリティカルバスを整備状況と活用状況について別続9に記載 すること。 ⑥ 病病連携・病診連携の協力体制 グルーブ指定を受けるが心診療連携拠点病院と連携により、以下を満たす。 接が国に多いが人その他必要ながんについて、地域連携クリティカルバス(が心診療連携拠点病院と地域の医療機関 す等が作成する診療の割外担表、共同診療計画表および患者用診療計画表から構成されるが心患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備している。 カ 当該圏域内のが心診療に関する情報を集制し、当該圏域内の医療機関やが心患者等に対し、情報提供を行っている。 A しいえ (はいしな) 専門的な知識および技能を有する医師の配置 オ (1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配置している。		我が国に多いがんおよび我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんの治療に関する院内クリティカルパ	-	別紙8	
(はいして)		症状緩和や医療用麻薬の適正使用を目的とした、院内クリティカルパスを整備状況と活用状況について別紙9に記載	-	別紙9	
グルーブ指定を受けるが人診療連携拠点病院と連携により、以下を満たす。 我が国に多いが人での他必要なが人について、地域連携ツリティカルバス(が人)診療連携拠点病院と地域の医療機関 オ 等が作成する診療の投列対理表、共同診察計画表おど患者用診療計画表から構成されるが人患者に対する診療の全 A しいえ (はいし 体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備している。 カ 当該圏域内のが人診療に関する情報を集約し、当該圏域内の医療機関やが人患者等に対し、情報提供を行っている。 A しいえ (はいし 原門的な知識および技能を有する医師の配置 1 (1)の(5)に規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配 居している。	⑥ 病病連携	,			
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	·	11 THE 1 CHIEF TO THE 1			
3) 診療従事者	t	等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表および患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全	А	いいえ	(はい・いいえ)
① 専門的な知識および技能を有する医師の配置 オ (1)の(5)に規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配置している。 A しいえ (はいしている。) 場談医師は専任である。	<mark>ל</mark>	当該圏域内のがん診療に関する情報を集約し、当該圏域内の医療機関やがん患者等に対し、情報提供を行っている。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配 A いいえ (はいし	2)診療従事者				
### である。 当該医師は専任である。 ※この場合の専任とは、緩和ケアチームの診療を中心となって当担当していればよく、その就業時間の5割以上を身体	① 専門的な	知識および技能を有する医師の配置			_
当該医師は専任である。	オ		Α	いいえ	(はい・いいえ)
i ※この場合の専任とは、緩和ケアチームの診療を中心となって当担当していればよく、その就業時間の5割以上を身体 症状もしくは精神症状の緩和に従事していることは求めない。 うち専任の人数 - 0 人 人 ① 人 ② 人 ② 人 ② 人 ② 人 ② 人 ② 人 ② 人 ② 人		精神症状の緩和に携わる医師の人数	-	0	人
当該医師は常勤である。	i	※この場合の専任とは、緩和ケアチームの診療を中心となって当担当していればよく、その就業時間の5割以上を身体	С	いいえ	(はい・いいえ)
当該医師は常勤である。		うち専任の人数	_	0	人
当該医師は常勤である。		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			人
緩和ケアチームにおいて専門的な知識および技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる 医師の専門性について、別紙34に記載すること。	ii			いいえ	(はい・いいえ)
緩和ケアチームにおいて専門的な知識および技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わるとの 場別紙34に記載すること。 場和ケアチームにおいて専門的な知識および技能を有する看護師等の専門性について、別紙35に記載すること。 別紙35 別紙35 別と療施設 ② 敷地内禁煙等 ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 A いいえ (はい・しな) が、			_		
緩和ケアチームにおいて専門的な知識および技能を有する看護師等の専門性について、別紙35に記載すること。 - 別紙35 3) 医療施設 ② 敷地内禁煙等 ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 A いいえ (はい・し			-	別紙34	
② 敷地内禁煙等 ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 A いいえ (はいし 物地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 イ 禁煙の状況 - 施設内のみを全面禁煙を設定している。 (動地内禁煙を施設内のみを機能である。 - しいこ (動地内禁煙を施設内のみを機能である。 (力 禁煙外来を実施している。 - しいこ (はいしている。 (はいしている。 (はいしている) (はないしている) (はいしている) (はいしている) (はないしている) (はないる) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないる) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている)			-	別紙35	
② 敷地内禁煙等 ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 A いいえ (はいし 物地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 イ 禁煙の状況 - 施設内のみを全面禁煙を設定している。 (動地内禁煙を施設内のみを機能である。 - しいこ (動地内禁煙を施設内のみを機能である。 (力 禁煙外来を実施している。 - しいこ (はいしている。 (はいしている。 (はいしている) (はないしている) (はいしている) (はいしている) (はないしている) (はないる) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないる) (はないしている) (はないしている) (はないしている) (はないしている)	3)医療施設				
ア 敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。 A いいえ (はいし (敷地内を) 振設内のみを 全面禁煙 振設内のみを 全面禁煙 振設内のみを 性 その他の場合記載すること。 一 (動地内を) 振設内のみを 全面禁煙 振設内のみ 性 その他の場合記載すること。 一 しいいえ (はい・し はい・し はい・し 研修の実施体制		煙等			
イ 禁煙の状況 - 施設内のみを 全面禁煙 施設内のみを 全面禁煙 施設内のみを 全面禁煙 施設内のみを 全面禁煙 機長 その他の場合記載すること。 - ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		· · ·	Α	いいえ	(はい・いいえ)
その他の場合記載すること。	1	禁煙の状況	-		(敷地内を全面禁煙 施設内のみを全面禁煙
エ 「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している。 - はい (はい・し 研修の実施体制	i	その他の場合記載すること。	-		ALC COVIED
エ 「職場における喫煙対策のためのガイドライン」(平成15年)に準拠している。 - はい (はい・し 研修の実施体制	ь	禁煙外来を実施している。	_	いいえ	(はい・いいえ)
研修の実施体制	•				(はい・いいえ)
		<u> </u>		10.0.	(100.0.01/2)
(はい・し) グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、施設に所属するがん医療に携わる医師が当該研修を Maria いいえ (はい・し) 修了する体制を整備している。		グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、施設に所属するがん医療に携わる医師が当該研修を	А	いいえ	(はい・いいえ)

沖縄県立宮古病院 現況調査A項目「いいえ」になっている箇所は下記のとおりです。

⑤ 緩和ケアの提供体制

vi	(2)の①のエ、オに規定される専従の医師は、手術療法・化学療法・放射線治療等、がん診療に関するカンファレンスおよび病棟回診に参加し、適切な助言を行うとともに、必要に応じて共同して診療計画を立案している。	A	いいえ	(はい・いいえ)	
⑥ 病病	車携・病診連携の協力体制				
オ	我が国に多いがんその他必要ながんについて、地域連携クリティカルパス(がん診療連携拠 点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表および患者用診療 計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を	Α	いいえ	(はい・いいえ)	
þ	地域連携時には、がん疼痛等の症状が十分に緩和された状態での退院に努め、症状緩和に 係る院内クリティカルパスに準じた地域連携クリティカルパスやマニュアルを整備するなど院 内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)	

② 専門的な知識および技能を有する医師以外の診療従事者の配置

(はい・いいえ)	いいえ	А	オ (1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、専従の緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を 有する常勤の看護師を1人以上配置している。	オ
٨		-	緩和ケアに携わる専従の人数	
٨		-	うち常勤の人数	

4 相談支援・情報提供・院内がん登録

(1)相談支援センター

	相談支援を行う機能を有する部門(以下「相談支援センター」という)を設置し、①および②の体制を確保した上で、当該部門においてアからシに掲げる業務を行う。		_	_
	相談支援センターは病院固有の名称との併記を認めた上で、「がん相談支援センター」 と表記している。	А	いいえ	(はい・いいえ
①	国立がん研究センターがん対策情報センター(以下「がん対策情報センター」という。) による研修を修了した専従および専任の相談支援に携わる者を1人ずつ配置すること。当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)~(3)	А	いいえ	(はい・いいえ
ア	「がん対策情報センター」による「相談支援センター相談員研修・基礎研修」(1)~(3) の修了者数	-	0	Д
	うち専任の相談支援に携わる者の人数	-		Д
	うち専従の相談支援に携わる者の人数	_		Д
1	がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1)および(2)の修了者数 ※(3)を修了している人数は含めない。	-	0	Д
	うち専任の相談支援に携わる者の人数	-		Д
	うち専従の相談支援に携わる者の人数	_		Д
ウ	がん対策情報センター相談支援センター相談員基礎研修会(1)のみの修了者数	-	0	Д
	うち専任の相談支援に携わる者の人数	-		Д
	うち専従の相談支援に携わる者の人数	-		Д

資料5-6 (県立八重山病院)

イ 確実な連携体制を確保するため、グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院と定期的な合同のカンファレンスを開催している。		Α	いいえ	(はい・いいえ)
ウ 地域がん診療病院の診療機能確保のための支援等に関するがん診療連携拠点病院との人材交流計画を提出し、その計画に基づいた人材交流を行ってい - 標準的治療等の均てん化のため、グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院と連携することにより、対応可能ながんについて院内クリティカルパスを整		A	いいえ	(はい・いいえ)
――――――――――――――――――――――――――――――――――――	2 開し石田	A	いいえ	(はい・いいえ) (はい・連携に
オ ※構成員については、必要に応じてグルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により確保する。		E	いいえ	より対応・いい
キャンサーボードは多職種、かつ多専門家で構成されている。		_	いいえ	(はい・いいえ)
		-	いいえ	(はいいれん)
サ 歯科口腔ケアの専門チームを整備し、当該歯科口腔ケアチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な歯科口腔ケアを提供している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
シ 緩和ケアの専門チームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付け、がん患者に対して適切な緩和ケアを提供している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
セ 小児固形腫瘍患者に対するキャンサーボードは多職種、かつ多専門家で構成されている。		-	いいえ	(はい・いいえ)
チ 小児園形腫瘍患者に対して二次がん、晩期合併症、妊孕性などに対応するため他科との連携がとれた長期フォローアップ外来を開設している。 ・ 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
ウ 診療科別に、全てのレジメンをホームページで公開している。 エ 化学療法の患者にジェネリックの抗がん剤を使用する選択肢を提示することを原則としている。		_	いいえ	(はい・いいえ)
□ (2)の①のエ、オに規定する医師および(2)の②のエ、オに規定する看護師等を構成員とする緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明研	住に位置			
付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。		A	いいえ	(はい・いいえ)
i がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的苦痛等のスクリーニングを診断時から外来および病棟にて行っている。		A	いいえ	(はい・いいえ)
a 院内で一貫したスクリーニング手法を活用している。 。 アに規定する緩和ケアチームと連携し、スクリーニングされたがん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛を迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。		A A	いいえ	(はい・いいえ)
i 週1回以上の頻度で、定期的に病棟ラウンドおよびカンファレンスを行い、苦痛のスクリーニングおよび症状緩和に努めている。		A	いいえ	(はいいれん)
ii 当該病棟ラウンドおよびカンファレンスには必要に応じ主治医や病棟看護師等の参加を求めている。		A	いいえ	(はい・いいえ)
iii がん疼痛をはじめとするがん患者の苦痛に対して、院内の診療従事者と連携し迅速かつ適切に緩和する体制を整備している。		Α	いいえ	(はい・いいえ)
外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。 iv ※「外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制」とは、医師による全人的な緩和ケアを含めた専門的な緩和ケアを提供する定期的な外来であり、疼・	痛のみに	Α	いいえ	(はい・いいえ)
対応する外来や診療する曜日等が定まっていない外来などは含まない。				
a 外来診療日については、外来診療表等に明示し、患者の外来受診や地域の医療機関の紹介を円滑に行うことができる体制を整備している。		A	いいえ	(はい・いいえ)
v (2)の②のエに規定する看護師は、苦痛のスクリーニングの支援や専門的緩和ケアの提供に関する調整等、外来看護業務を支援・強化している。 a 主治医および看護師等と協働し、必要に応じてがん患者カウンセリングを実施している。		A A	いいえ	(はい・いいえ)
(2)の①のエ、オに規定される専従の医師は、手術療法・化学療法・放射線治療等、がん診療に関するカンファレンスおよび病棟回診に参加し、適切な助罰	きを行うと			
vi ともに、必要に応じて共同して診療計画を立案している。		A	いいえ	(はい・いいえ)
vii (2)の①のエ、オに規定される専任の医師は、がん診療に関するカンファレンスおよび病棟回診に参加している。 緩和ケアに係る診療や相談支援の件数および内容、医療用麻薬の処方量、苦痛のスクリーニング結果など、院内の緩和ケアに係る情報を把握・分析し、影	で価を行っ	С	いいえ	(はい・いいえ)
wiii 核ポリアに除る診療や相談又接の件数あよび内容、医療用麻楽の変力量、舌痛のスプリーニング和来はと、既内の核ポリアに除る情報を拒難する折し、ま プロスプログラインによる機能のアチームへがん患者の診療を依頼する手順には、医師だけではなく、看護師や薬剤師など他の診療従事者からも依頼できる体制を確		A A	いいえ	(はい・いいえ) (はい・いいえ)
・ ス アに担定する経知ケアチー・ハヘがん。事者の診療を体験する王順かど、評価された羊森に対する対抗な印稿化し、除内の全ての診療従事者に関知するとと				
" 者とその家族に緩和ケアに関する診療方針を提示している。		A	いいえ	(はい・いいえ)
がん治療を行う病棟や外来部門に、緩和ケアの提供について診療従事者の指導にあたるとともに緩和ケアの提供体制についてアに規定する緩和ケアチー	師のこと	С	いいえ	(はい・いいえ)
アからエにより、緩和ケアの提供がなされる旨を、院内の見やすい場所での掲示や入院時の資料配布等により、がん患者および家族に対しわかりやすぐ情 オ	報提供を	Α	いいえ	(はい・いいえ)
i 院内の見やすい場所に掲示している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
ii 院内誌、チラシ等で広報している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
iii ホームページに掲載している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
iv 地域の広報誌等で広報している。 v その他の方法で掲載している。		_	いいえ	(はい・いいえ)
v その他の方法で掲載している。	明および		いいえ	(はい・いいえ)
お事を行っている。	.5100040	Α	いいえ	(はい・いいえ)
ク 緩和ケア病棟を有している。(有している場合は、以下の項目に回答すること)		-	いいえ	(はい・いいえ)
病理診断または画像診断に関する依頼、手術、放射線治療、化学療法または緩和ケアの提供に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断おいに関する連携協力体制を整備している。	よび治療	Α	いいえ	(はい・いいえ)
我が国に多いがんその他必要ながんについて、地域連携クリティカルパス(がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同	同診療計	^	いいえ	(はい・いいえ)
画表および患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。以下同じ。)を整備している。 は対象があるという。以下同じ。)を整備している。		^		
カ 当該圏域内のがん診療に関する情報を集約し、当該圏域内の医療機関やがん患者等に対し、情報提供を行っている。		A C	いいえ	(はい・いいえ)
・	やマニュア			
クルを整備するなど院内での緩和ケアに関する治療が在宅診療でも継続して実施できる体制を整備している。		Α	いいえ	(はい・いいえ)
オおよびクに規定する地域連携クリティカルバス等を活用するなど、地域の医療機関等と協力し、必要に応じて、退院時に当該がん患者に関する共同の診 作成等を行っている。		С	いいえ	(はい・いいえ)
退院支援に当たっては、主治医、緩和ケアチーム等の連携により療養場所等に関する意志決定支援を行うとともに、必要に応じて地域の在宅診療に携わる 訪問看護師等と退院前カンファレンスを実施している。	る医師や	Α	いいえ	(はい・いいえ)
我が国に多いがんその他対応可能ながんについて、手術療法、放射線治療、化学療法または緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する医師に アドオピニオンを提示できる体制を整備している。 ※グループ指定のがん診療連携機会病院との連携による提示も可とする。	よるセカン	A	いいえ	(はい・いいえ)
i 院内の見やすい場所に掲示している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
ii 院内誌、チラシ等で広報している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
iii ホームページに掲載している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
iv 地域の広報誌等で広報している。		-	いいえ	(はい・いいえ)
v その他の方法で掲載している。 イ 放射線治療を実施している。		_	いいえ	(はい・いいえ)
専門的な知識および技能を有する専従の放射線治療に携わる医師を1人以上配置している。		-	いいえ	(はいいれ)
ii 5大がん(胃・肺・肝・大腸・乳)の転移・再発症例の全身化学療法のうち、8割以上を内科医が主となり担当している。			いいえ	(はい・いいえ)
エ (1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、専任の身体症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配置している。		Α	いいえ	(はい・いいえ)
i 当該医師は常勤である。		Α	いいえ	(はい・いいえ)
ii 当該医師は専従である。 オ (1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、精神症状の緩和に携わる専門的な知識および技能を有する医師を1人以上配置している。		C A	いいえいいえ	(はい・いいえ)
当該医師は専任である。				(はい・いいえ)
i ※この場合の専任とは、緩和ケアチームの診療を中心となって当担当していればよく、その就業時間の5割以上を身体症状もしくは精神症状の緩和に従事ことは求めない。	している	С	いいえ	(はい・いいえ)
ii 当該医師は常勤である。		С	いいえ	(はい・いいえ)
カ 専任の病理診断に携わる医師を1人以上配置している。	-	С	いいえ	(はい・いいえ)
サ				/1±1
ア 放射線治療を実施している。 東従かつ党對の診療放射線技師を1人以上配管している。 放射線治療を実施している。 放射線治療を実施している。 放射線治療を実施している。	ハス場合な	-	いいえ	(はい・いいえ)
ア 放射線治療を実施している。 専従かつ常勤の診療放射線技師を1人以上配置している。 放射線治療を実施している。 放射線治療を実施している。 放射線治療を実施している。	小る場合A		いいえ いいえ いいえ	(はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ)
専従かつ常勤の診療放射線技師を1人以上配置している。 放射線治療を実施してい	Nる場合A	-	いいえ	(はい・いいえ)

### (1)の参加版工作を紹介がアームに、裏見の機能がアに推ら金剛門的が知恵上がは速をする水色の音楽的に入した際した。	i	当該看護師は専従である。	С	いいえ	(はい・いいえ)
 (11)の記に数字で基礎的ケアームに扱うする素質的対象が感像の間に関わる者をそれぞれ入以上配置している。 (12) 「カープラックなど、物外開発できための放射物が動像器を設置しています。 (13) 「カープラックなど、物外開発できための放射物が動像器を設置しています。 (13) 「カープラックなど、物外開発できための放射物が動像器を設置しています。 (14) 「はいいいえ) (15) 「はい	オ	(1)の⑤に規定する緩和ケアチームに、専従の緩和ケアに携わる専門的な知識および技能を有する常勤の看護師を1人以上配置している。	А	いいえ	(はい・いいえ)
□ 日本版で放射性適所を提供している。 □ 1 リーアックなど、体外開発を行うたの放射性治療機器を設置している。 □ 自由機を専門とする分割に掛ける場合とない。 □ 自由機を専門とする分割に掛ける場合とない。 □ 自由機を専門とする分割に掛ける場合とない。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ 1 がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに著す保持でよができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表す保持ではかできる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表現を指する場合を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表現を関する場合を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表現を関する場合を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表現を開催を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからに表したが関係は関係を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからがに実験を開催に対する関係と関係できる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからがに実験を用いて要素を構造を持てうたができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからがに実験を用いて要素を構造を表したができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性混合が必要な必要のからが、は単性指定が関係を関係を対するが参を行うことができる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ がんの金額に関しては単性がでは単性が表がなるのを認定がしている。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ かり、 (ない・ないな)。 □ 内容の金額に関しているの金額のからが、は単性相談の対と様やしている。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 1 以及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 い及 (はい・いな)。 □ 2 には 1 になる。 □ 2 になる 1 に	i	当該看護師は公益社団法人日本看護協会が認定を行うがん看護専門看護師、緩和ケア認定看護師、がん性疼痛看護認定看護師のいずれかである。	С	いいえ	(はい・いいえ)
リニアックなど、体外側的体行がための放射能力を機器を投催している。	カ	(1)の⑤に規定する緩和ケアチームに協力する薬剤師および医療心理に携わる者をそれぞれ1人以上配置している。	С	いいえ	(はい・いいえ)
□ 自由業を専門とする分野に関けるでいる。	7	自施設で放射線治療を提供している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
### 新春春を登録している。	i	リニアックなど、体外照射を行うための放射線治療機器を設置してい 放射線治療を提供している場合はG	-	いいえ	(はい・いいえ)
ク が人の治療に悪いては中性監督が必要もあきのために再来程序できたできる。 - いり次 (はかいいえ) が人の治療に悪いては中性監督が必要なあ書のために未来更相様子者情報を存行うことができる。 - いり次 (はいいいえ) が人の治療に悪いては中性監督が必要なあ書のために受精御でいる情報を存行うことができる。 - いり次 (はいいいえ) がんの治療に悪いては中性温存が必要なあまったがに受精神と関いするが異単数は保存を行うことができる。 - いり次 (はいいいえ) がんの治療に悪いては中性温存が必要なあまったがに放射性の値に対する影響を基本をやったができる。 - いり次 (はいいいえ) がんの治療に悪いては中性温存が必要なも書のたがに放射性を通じするがを見まるをもったができるの。 - いり次 (はいいいえ) がんの治療に悪いては中性温存が必要ななきあったがに放射性治療に対するが多まをおかり無でいきる他の独立を構むがしている。 - いり次 (はいいいえ) がんの治療に悪いては中性温存が必要ななきあったがに放射性治療に対するが悪をはずる治療を計かり無ではある。 - いり次 (はいいいえ) がたりの治療に悪いては中性温存が必要ななまるのたが、対策を持ちまるとしたを見ないいのできるの認定を関するが必要なまるが利用できる協立能を使用のようと思するが、かりを表すを持ちいている。 - いり次 (はいいいえ) がたりの者を実践が利用できる協立能を控制できる協立を自然を対するがあるが、ときなが利用できる協立を含めていると表があるが、場を表が利用できる協立を含めていままれます。とまながあるが、場を表があるが、はいいいえの、 - いり次 (はいいいえ) がったりを含むが利用できる協立を含めてきると表ががらのと表があるが、ときながあるが、ときながあると表があるが、ときながあると表があるが、ときながあると表があるが、ときながあると表があるが、ときながあると表があると表があるが、ときながあるが、ときながあると表があるとながあるが、ときながあるが、ときながあるが、ときながあるが、ときながあるとながあるとながあるとながあるとながあるとながあるとながあるとながあると	I	白血病を専門とする分野に掲げるている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
□ がんの治療に悪して好学性温存が必要な患者のために未受精卵子連絡保存を行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪して特性温存が必要な出着のために未受精卵と激励保存を行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いて持ず性温存が必要な出着のために非常性素が検索としませんができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な出着のために非常性素が検索としませんが自然を開発を行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要なあ者のために実験性素が会する必要が上がする卵巣無難を行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要のために実験性能を行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要のためたに実験性治療に対する卵巣直接や行うことができる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要のためた実験性ができる側の態度を持力している。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要のためた 装学性温存分のできる。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要のためた 装学性温存が治療な事では受ける場合を対している。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては学性温存が必要な必要が必要な必要ができる側の態度を抑力でいている。 - いいえ はいいいよう がんの治療に悪いては空性温存が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要な必要が必要なが必要な		無菌病室を設置している。 白血病を専門とする分野に掲げる場合はA	-	いいえ	(はい・いいえ)
 がんの治療に関して好や性温存が必要な患者のために受損物(能) 連絡保存を行うことができる。 がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために対象組織連絡保存を行うことができる。 しいえ はいいいえ) がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために対象組織連絡保存を行うことができる。 しいえ はいいいえ) がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために対象情能が上する事業総合体育うことができる。 しいえ はいいいえ) がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために対象情能が上する事業総合体育うことができる。 しいえ はいいいえ) がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために対象情能が上する事業総合体育うことができる。 しいえ はいいいえ) がんの治療に関して対学性温存が必要な患者のために実験を保険上限を保険させる事業を作ります。 いいえ はないいいえ) がんの治療に関して対学性温存のための対象が必要な患者のために対象を体験を作ります。 いいえ はないいいえ) かかの治療に関して対学性温存のための対象が必要な患者のために対象を体験を作ります。 しいえ はないいいえ) かたの治療に関して対象に対象性温存のための対象が必要な患者のために はずきないがないのできる。 しいえ はないいいえ) かたの治療に関しては関係では対象に対象を体験を使用と負している。 しいえ はないいいえ) かたが必要を生産が利用できる経過能を検察に関連している。 しいえ はないいいえ) カループ能を受けるが利用できる経過能を検察に関連している。 ととび はないいいえ) 皮を受験者を持てもこのが必要を持ち上であるが必要を持ち上であるとの変態に対いてが必要が利用を実施が自動装物を修作する特権を関している。 しいえ はないいいえ) がん感覚を会がしための金の機能を持ちを行があらからでもないの途を検討できるが必要を持つ上であるが必要を持て上であるが必要を持ち上であるが必要を持ち上であるがのと思いを持ち、とを持ち、とを持ち、とを持ち、とを持ち、とを持ち、とを持ち、とを持ち、と	ク	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために精子保存を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
世 がんの治療に関して近や性温存が必要な患者のために原規組織連絡保存を行うことができる。		がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために未受精卵子凍結保存を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
9 がんの治療に難して好き性温育が必要な患者のために放射機治療に対する脚準態を行うことができる。 - いいえ (はい・いえ) 9 がんの治療に難して好き性温育が必要な患者のために放射機治療に対する脚準温度を行うことができる。 - いいえ (はい・いえ) 1 がんの治療に難して好き性温育が必要な患者のため、無性治療性と関係とはずるは事者が必要な患者のため、また。 このは、はい・いえ) - いいえ (はい・いえ) 2 がんの治療に関している。	シ	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために受精卵(胚)凍結保存を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ツ がんの治療間に既せた発性温存が必要な患者のために放射総治療に対する卵巣連携を行うことができる。 - いいえ (はいいいえ) がんの治療に関して好き性温存が必要な患者のために素物を用いて卵巣を体限させる事で化・酵産法から消除を行うことができる。 - いいえ (はいいいえ) がんの治療に関して対き性温育のための実践を持ていた。	セ	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために卵巣組織凍結保存を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ト がんの治療に関して以中性温存が必要な患者のために薬物を用いて卵巣を休眠させる事で化学療法から卵巣を保護する治療を行うことができる。 - いいえ (はいいいえ) がんの治療に関しては予性温度が必要な患者のための見度が多要な患者のため、見性温光治療ができる他の施度を紹介している。 - いいえ (はいいいえ) がんの治療に関しては予性温度のための知度が多要な患者のため、見せ性温光治療ができる他の施度を紹介している。 - いいえ (はいいいえ) 小児がん患者と家族が利用できる信治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) 小児がん患者と家族が利用できる信治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) がんの患者と家族が利用できる信治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) がたのまたが利用できる宿治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) がたのようないが利用できる宿治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) が生まるよび利用できる宿治施設を授内に整備している。 - いいえ (はいいいえ) がんの一つ指定を受けるがん診療・通信発起の病院との遺情により、施設に所属するがん医療に関わる医師が当該研修を作する体制を管理している。 A いいえ (はいいいえ) がんの一つ からなから からなきを持ちている。 - いいえ (はいいいえ) がんの場を考するこのが、多性を育り高のコミューケーションを呼ば中に最低 回でも実施している。 - いいえ (はいいいえ) がん患者や含き物質するこの診療検知とのローテーションと要する課題は特殊がらから (はいいいえ) がん患者や含き物質するこの診療検知とのローテーションと要する課題特殊がらなが、風味教育制度がある。 - いいえ (はいいいえ) が必要を検討さる診験的が必要を検討となりを置きれている。 - いいえ (はいいいえ) 間立が人研究セクターが人対策情報セクター(以下がん)対策情報セクターによう 引による研修を作了たま草袋および研修さずてたたままでは他でいる。 - いいえ (はいいいえ) かんの最かすっといろ、「ははいいる」 ウェン・オームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどのはいのカラオローアップ率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子を知れている。 - いいえ (はいいいえ) かんの含食を持てきためにいている。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどの前にないに、スタージのの命食を作りたも変の成内がん食食事業等に必要な情報を使用したいる。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどの前に表している。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどの前に表している。 - いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどの治にない、こ いいえ (はいいいえ) かんの食食子でどの前に表している。 - いいえ (はいいいえ) かまのの食食を育であれている。 - いいえ (はいいいえ) かまのの食食を育で成している。 - いいえ (はいいいえ) かまのの食食を育での他にいている。 - いいえ (はいいいえ) かまのの食食を育での他にいいえ	タ	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために放射線治療に対する卵巣移動を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
□ がんの治療に関して好争性温存のための処置が必要な患者のために 好争性温存治療ができる他の施設を紹介している。 □ いいえ (はいいいえ)	ツ	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために放射線治療に対する卵巣遮蔽を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
本 院内学能を開催している「院内学能とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児がん患者と実施が利用できる部泊施設を院内に登備している。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児がん患者と実施が利用できる部泊施設を院内に登備している。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児がん患者と実施が利用できる高速施設を発付に登備している。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児がん患者と変施が利用できる高速施設を発付に登備している。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児がん患者と変施が利用できる高速施設を発付に登機している。 - いいえ (はい・いいえ) / 小児・アーオ連を受けるがんが整進機と自動をとか速機に携わる医師が当該研修を毎年定預的に実施している。 - いいえ (はい・いいえ) / シルーオ推定を受けるがんが整進機と自動をとか連携により、施設に所属するがんを懸めに携わる医師が当該研修を停すする体制を登備している。 - いいえ (はい・いいえ) 上記の経験等できるがらを登進機についかすて情報を促作している。 - いいえ (はい・いいえ) / ・ ・ ・ いいえ (はい・いいえ) / ・ ・ ・ いいえ (はい・いいえ) / ・ ・ ・ ・ いいえ (はい・いいえ) / ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	٢	がんの治療に際して妊孕性温存が必要な患者のために薬物を用いて卵巣を休眠させる事で化学療法から卵巣を保護する治療を行うことができる。	-	いいえ	(はい・いいえ)
 ハ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に雲傷している。 ハ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に雲傷している。 ハ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に登傷している。 ハ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を実所と響している。 カ ループ報定を受けるがん診療進機自動機との運搬しより、施設に所属するが心底層に携わる医師が自該研修を育する体験を登備している。 ム いいえ (はい・いいえ) ははい・いいえ) ははい・いいえ (はい・いいえ) はたい・いいえ (はい・いいえ) はたい・いいえ (はい・いいえ) はたい・いいえ (はい・いいえ) がんき担ぐ余命を知等を行う際のコミューケーション・研修を1年に見板「回でも実施している。 ム いいえ (はい・いいえ) がんき担ぐを行う際のコミューケーション・団体を1年に見板「回でも実施している。 か いいえ (はい・いいえ) がんき担ぐを行う際のコミューケーション・団体を1年に見板「回でも実施している。 か いんき音を診療する3つの診療料以上のローテーションを要する臓器機断的ながん癌床教育制度がある。 か いんき音を検括する診療破がんから療施・提幅センターなどが設置されている。 国立がん研究センター・の いん対策情報センターなどが設置されている。 国 国立が人研究センター・の いん対策情報とリンターなどが設置されている。 国 国立が人研究センター・の いん対策情報とリンターはいう。 こよる研修を作了した専技を修了している。 カ 中域の広報経等で広報している。 中域の広報経等で広報している。 中域の広報経等で広報している。 カ 世域の広報経等で広報している。 カ いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ	=	がんの治療に際して妊孕性温存のための処置が必要な患者のために 妊孕性温存治療ができる他の施設を紹介している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
 ハ 小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。 	ネ	院内学級を開催している(院内学級とは、ここでは院内に設置された小・中学特別支援学級、特別支援学校を指す)。	-	いいえ	(はい・いいえ)
別途定める「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてが人医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的に実施している。	/	小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院内に整備している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、施設に所属するがん医療に携わる医師が当該研修を修了する体制を整備している。 A しいえ はいいれる 上記の研修修了者について、患者とその家庭に対してわかりやすく情報提供している。 A しいえ (はいいれる) 医療使事者に対してがん合動物令命も知等を行う際のコミュニケーション研修と1年に最低1回でも実施している。 - しいえ (はいいれる) がんをおゆる命を始等を行う際のコミュニケーションに関するマニュアからる。 - しいえ (はいいれる) がん患者を診察する3つの診察科以上のローテーションを要する臓器横断的ながん施床教育制度がある。 - しいえ (はいいえ) がん影響を検討にもないのできないのできないのできないのできないのできないのできないのできないのが変化しましているが必要能でないのが変化しましていていましていていていていていていていていていていていていていていていて	/\	小児がん患者と家族が利用できる宿泊施設を院外に整備している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
上記の研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供している。		別途定める「プログラム」に準拠した当該2次医療圏においてがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修を毎年定期的に実施している。	С	いいえ	(はい・いいえ)
医療従事者に対してがA合知や余命告知等を行う際のコミュニケーション研修を1年に最低1回でも実施している。 - いいえ はいいいえ) がA合知や余命告知等を行う際のコミュニケーションに関するマニュアルがある。 - いいえ はいいいえ) がAの表音を確する3つの診療科以上のローテーションを要する臓器横断がながA臓床教育制度がある。 - いいえ はいいいえ) がAの表音を検する3つの診療科以上のローテーションを要する臓器横断ながA臓床教育制度がある。 - いいえ はいいいえ) はいいいえ) はいいいえ) はいいいえ 関立がAの数をセンターがA分類情報センターなど)が設置されている。 - いいえ はいいいえ) はいいいえ すること。当該者のうち、1名は相談負基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)、(3)を修了している。 - いいえ はいいいえ) はいいいえ		グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院との連携により、施設に所属するがん医療に携わる医師が当該研修を修了する体制を整備している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
がん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーションに関するマニュアルがある。		上記の研修修了者について、患者とその家族に対してわかりやすく情報提供している。	Α	いいえ	(はい・いいえ)
がん患者を診療する3つの診療科以上のローテーションを要する臓器横断的ながん態味教育制度がある。		医療従事者に対してがん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーション研修を1年に最低1回でも実施している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
がん診療を結括する診療部(がん診療部、腫瘍センターなど)が設置されている。 - いいえ (はいいりえ) 国立がん研究センターがん対策情報センター(以下「がん対策情報センター」という。)による研修を修了した専従および専任の相談支援に携わる者を1人ずつ配置		がん告知や余命告知等を行う際のコミュニケーションに関するマニュアルがある。	_	いいえ	(はい・いいえ)
国立がん研究センターがん対策情報センター(以下「がん対策情報センター」という。)による研修を修了した専従および専任の相談支援に携わる者を1人ずつ配置 すること。当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)~(3)を修了している。 - いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) か ホームページに掲載している。 - いいえ (はい・いいえ) 日本の広報院等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ) 国立がん研究センターによる研修を修了した専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 A いいえ (はい・いいえ) 院内が仏・登録を活用することにより、都道府県の実施する地域が人・登録事業等に必要な情報を提供している。 A いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) (はい・いいえ) かん登録データを分析して、ステージ別の5年生存事を把握している。 - いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ) はない・いいえ (はい・いいえ) かん登録データを分析して、ステージ別の5年生存事を把握している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) 生存率の計算を依命)คm・Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ) セダの広報誌を可な報している。 - いいえ (はい・いいえ) がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) から登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ作遊載している。 - いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ作遊載している。 - いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ指定を受けるが、心診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実積等についてホームページ、パンフレッチ等でわかりやす公表している。 A いいえ (はい・いいえ) (はい・いいえ) が、ルーズ・デラン等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) か、ルーズ・デラン等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) か、ルーズ・デラン等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ・デラン等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ) はい・いいえ (はい・いいえ) か、ルーズ・デジを守て広報している。 - いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ・デジを守て広報している。 - いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ・デジを守て広報している。 - いいえ (はい・いいえ) が、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・デジを行るが、ルーズ・バンファン・アンド・オーズ・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド・アンド		がん患者を診療する3つの診療科以上のローテーションを要する臓器横断的ながん臨床教育制度がある。	-	いいえ	(はい・いいえ)
### すること。当該者のうち、1名は相談員基礎研修(1)、(2)を、もう1名は基礎研修(1)~(3)を修了している。 ### 回標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している ### 回標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している ### 回域の広報誌等で広報している。 ### 回域の広報誌等で広報している。 ### 回域の広報誌等で広報している。 ### 回述が、研究センターによる研修を修了した専役の院内が人登録の実務を担う者を1人以上配置している。 ### 回述が、研究センターによる研修を修了した専役の院内が人登録の実務を担う者を1人以上配置している。 ### 回述が、研究センターによる研修を修了した専役の院内が人登録の実務を担う者を1人以上配置している。 ### ロいえ (はい・しいえ) ### のが、登録で用することにより、都道所県の実施する地域が人登録事業等に必要な情報を提供している。 ### ロいえ (はい・しいえ) ### から登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 ### ロいえ (はい・しいえ) ### がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 ### ロいえ (はい・しいえ) ### はいいましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましましまのようにはいましまのようにはいましまのようにはいましましまいましまいましまいましまいましまいましまいましまいましまいましまい		がん診療を統括する診療部(がん診療部、腫瘍センターなど)が設置されている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいしえ) 関立がん研究センターによる研修を修了した専徒の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 A いいえ (はいいしえ) 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施する地域がん登録事業等に必要な情報を提供している。 A いいえ (はいいしえ) ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。 - いいえ (はいいしえ) エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - いいえ (はいいしえ) オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はいいしえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はいいしえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいしえ) ク ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしえ) ク 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいしいえ) ク ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしいえ) ク ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしいえ) ク ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいしいえ) クトリンス (はいいしいえ)			А	いいえ	(はい・いいえ)
エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) 国立がん研究センターによる研修を修了した事徒の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 A いいえ (はいいいえ) 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施する地域がん登録事業等に必要な情報を提供している。 A いいえ (はいいいえ) ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はいいいえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内身、チラジ等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ボームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ボームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ)		国の標準プログラムに基づく研修を修了したピアサポーターによる相談支援を導入している	-	いいえ	(はい・いいえ)
国立がん研究センターによる研修を修了した事徒の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。 A しいえ (はいいしえ) 院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施する地域がん登録事業等に必要な情報を提供している。 A しいえ (はいしいえ) ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。 - しいえ (はいしいえ) エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - しいえ (はいしいえ) オ がら登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - しいえ (はいしいえ) カ 生存率の計算をKappan-Meier法を用いて行っている。 - しいえ (はいしいえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいしいえ) エ 地域の広報記等で広報している。 - しいえ (はいしいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - しいえ (はいしいえ) イ 院内別を、チラシ等で広報している。 - しいえ (はいしいえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいしいえ) イ 院内診、チラシ等で広報している。 - しいえ (はいしいえ) ナレいえ 地域の広報話等で広報とている。 - しいえ (はいしいえ) エ 地域の広報話等で広報している。 - しいえ (はいしいえ) エ 地域の広	ウ	ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
院内が必登録を活用することにより、都道府県の実施する地域が必登録事業等に必要な情報を提供している。 A しいえ (はいいしえ) ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。 - いいえ (はいいしえ) エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - しいえ (はいいしえ) オ がら登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - しいえ (はいいしえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meior法を用いて行っている。 - しいえ (はいいしえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいいしえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - しいえ (はいといえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - しいえ (はいいしえ) イ 院内ま、チラシ等で広報している。 - しいえ (はいいしえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいいしえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいいしえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいいしえ) ナレいえ はいいしいえ) しいえ (はいいしいえ) レいえ (はいいしいえ) しいえ (はいしいえ) ナレいえ (はいしいえ) しいえ (はいしいえ)	I	地域の広報話等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ア 診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はいいいえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) イ 院内息やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)		国立がん研究センターによる研修を修了した専従の院内がん登録の実務を担う者を1人以上配置している。	А	いいえ	(はい・いいえ)
エ がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。 - いいえ (はいいいえ) オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はいいいえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内誌、チラシ等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)		院内がん登録を活用することにより、都道府県の実施する地域がん登録事業等に必要な情報を提供している。	А	いいえ	(はい・いいえ)
オ がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。 - いいえ (はおいいえ) カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はおいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内誌、チラシ等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)	ア	診断日から5年以内のフォローアップ率を把握している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
カ 生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グループ指定を受けるが心診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内誌、チラン等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)	I	がん登録データを分析して、ステージ別の5年生存率を把握している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内誌、チラン等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)	オ	がん登録データをもとにして、治療関連死亡患者数を把握している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A いいえ (はいいいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - いいえ (はいいいえ) イ 院内誌、チラン等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)	ъ	生存率の計算をKaplan-Meier法を用いて行っている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
グルーブ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。 A しいえ (はむいしいえ) ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - しいえ (はいいし、え) イ 院内誌、チラン等で広報している。 - しいえ (はいいし、え) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいいしえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - しいえ (はいいしえ)	ウ	ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
ア 院内の見やすい場所に掲示している。 - しいえ (はしいしいえ) イ 院内誌、チラン等で広報している。 - しいえ (はいしいえ) ウ ホームページに掲載している。 - しいえ (はいしいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - しいえ (はいいしえ)	I	地域の広報話等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
イ 院内誌、チラシ等で広報している。 - いいえ (はいいいえ) ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はいいいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はいいいえ)		グループ指定を受けるがん診療連携拠点病院名やその連携内容、連携実績等についてホームページ、パンフレット等でわかりやすく公表している。	А	いいえ	(はい・いいえ)
ウ ホームページに掲載している。 - いいえ (はい・いいえ) エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ)	ア	院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ 地域の広報誌等で広報している。 - いいえ (はい・いいえ)	1	院内誌、チラン等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	ウ	ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
オ その他の方法で掲載している。 - いいえ (はい・いいえ)	I	地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	オ	その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)